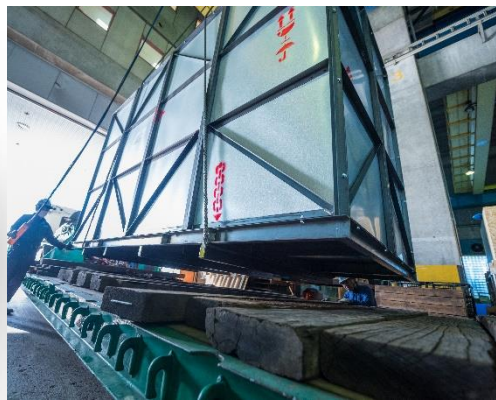


2024年3月期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2024年6月7日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix
 - ・2024年3月期 連結貸借対照表
 - ・2024年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書
 - ・外部環境

1. 2024年3月期決算概要

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

1-1. 2024年3月期決算概要

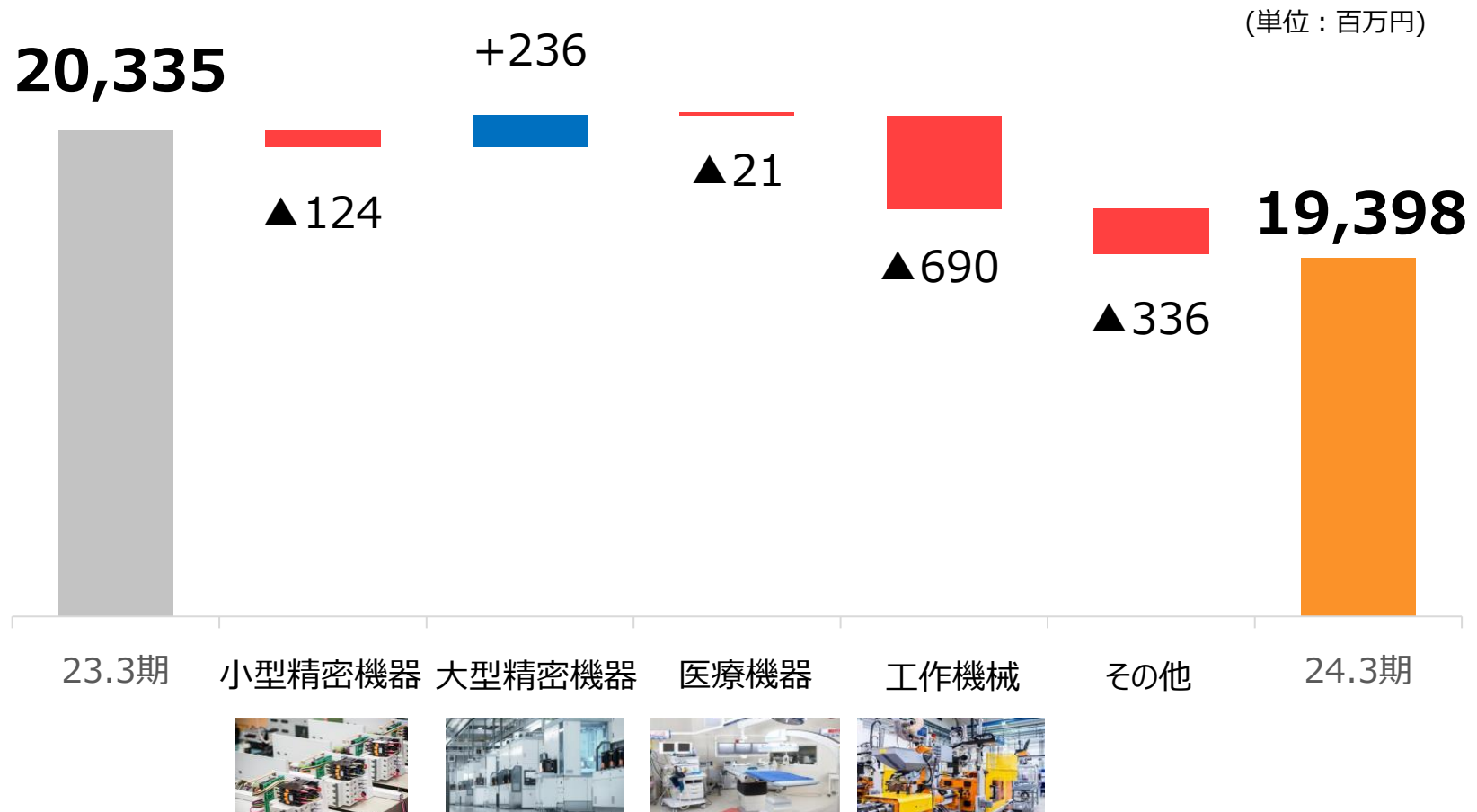
- ・売上高 : 海上運賃の大幅な下落により、減収
- ・営業利益 : 運輸事業の外注費上昇・販売費及び一般管理費の増加により、減益

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	前年比 増減	業績予想	予想達成率
売上高	20,335	19,398	▲936	20,500	94.6%
売上原価	16,192	15,024	▲1,167	-	-
(売上原価率)	79.6%	77.5%	▲2.2pt	-	-
販売管理費	3,123	3,508	+384	-	-
(販売管理費比率)	15.4%	18.1%	+2.7pt	-	-
営業利益	1,019	865	▲153	900	96.2%
(営業利益率)	5.0%	4.5%	▲0.5pt	4.4%	+0.1pt
経常利益	1,203	786	▲417	850	92.5%
当期純利益※	980	572	▲407	560	102.3%
(当期純利益率)	4.8%	3.0%	▲1.8pt	2.7%	+0.3pt

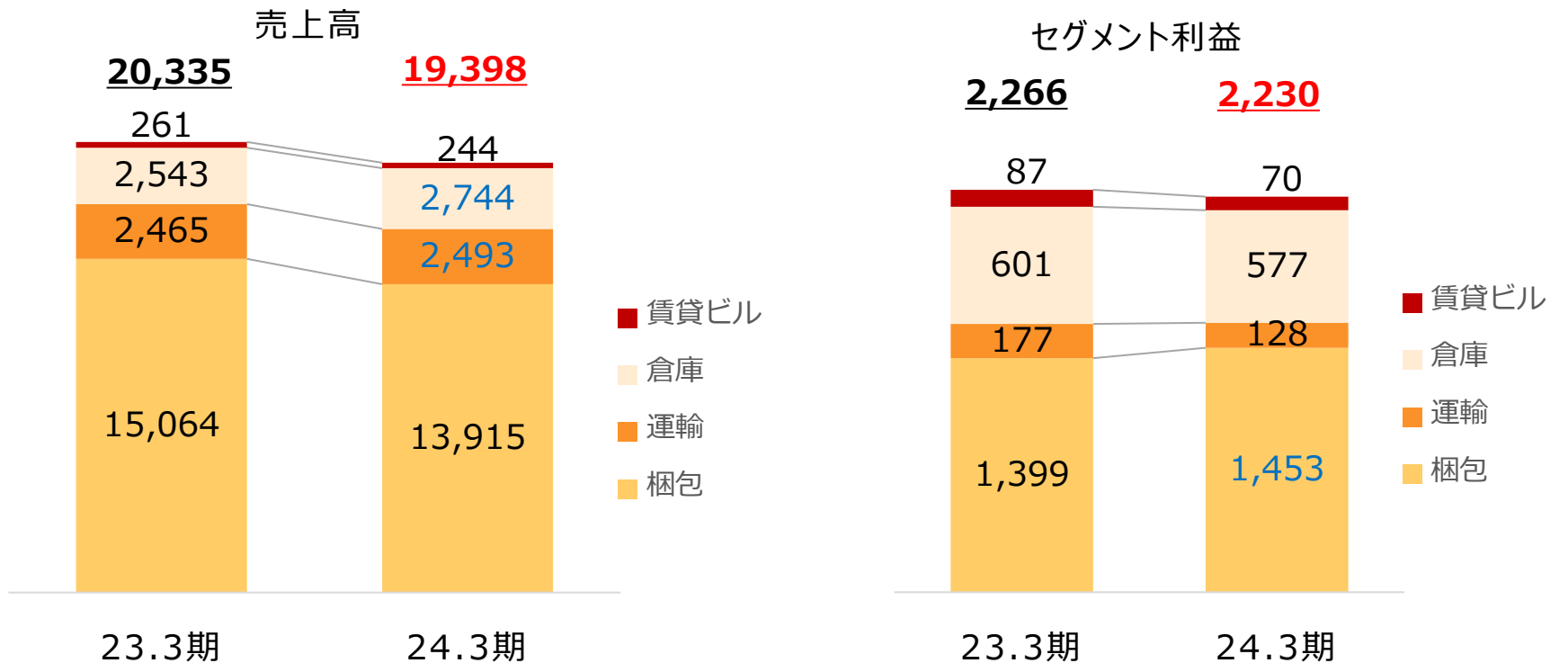
※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益及び純損失を示します。以降のページ同様です。

1-2. 取扱製品群別売上高増減

半導体製造装置及び工作機械の輸出が減少傾向にあり、出荷待ち製品の保管が増加したものの、主に工作機械の輸出に伴う海上運賃の大幅な下落が影響



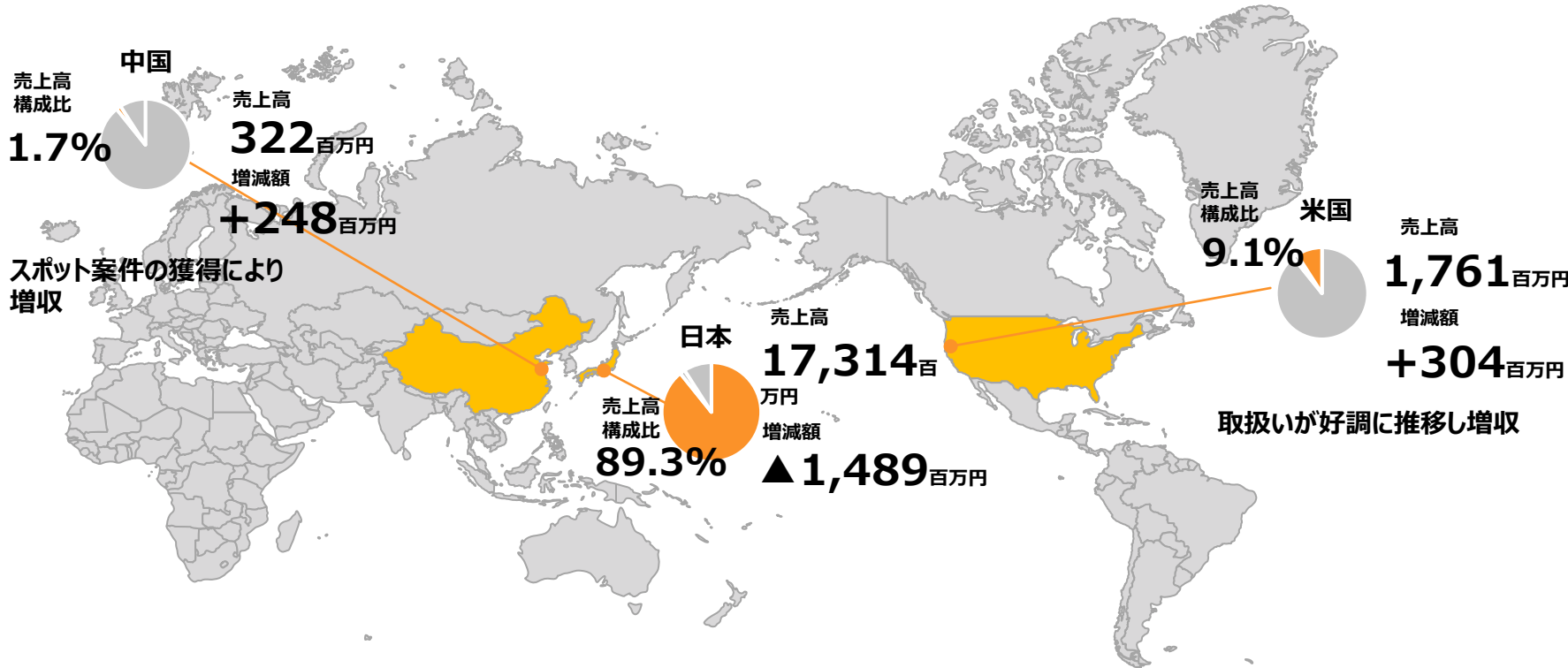
1-3. セグメント別実績



- 梱包：工作機械の輸出に伴う海上運賃が前期に比べて大幅に下落したため、減収。米国子会社で取扱っている工作機械の梱包が好調に推移したため、増益
- 運輸：小型精密機器の新規案件が好調に推移したため、売上高はほぼ前期並み。外注費の値上がり分について、顧客への価格転嫁の交渉行ったものの十分に補うことができなかったため、減益
- 倉庫：主に工作機械の輸出が減少傾向にあり、出荷待ち製品の保管が増加したため、増収。顧客の倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが遅れている影響で減益
- 賃貸ビル：本社ビルは満床で稼働も、上半期は本社ビルの稼働率が低下していたことにより、売上高、利益ともに減少

1-4. 地域別売上高

日本は減収も中国・米国は好調に推移



USD/JPY=140.56

CNY/JPY=19.82

2. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

2-1. 中期経営計画の概要

中・長期ビジョン

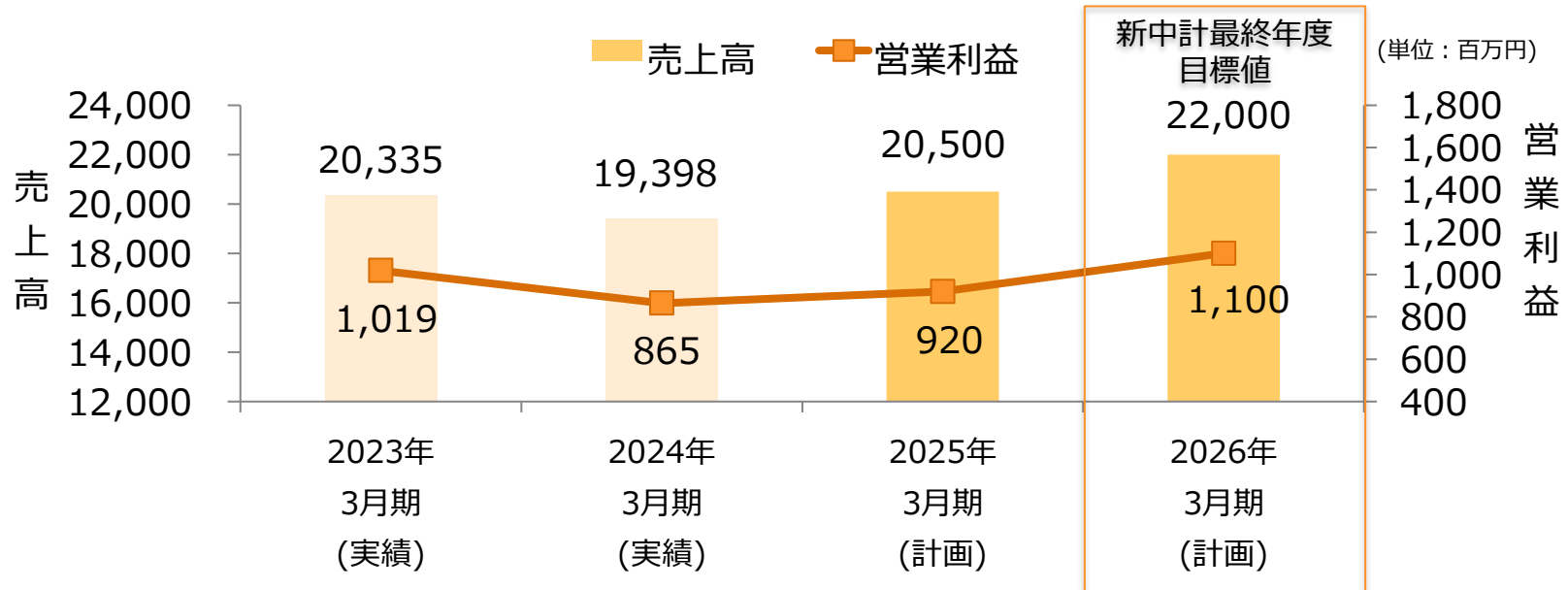
オペレーションからソリューションへ

『ソリューション』

お客様との対話を繰り返すことで、今まで引き出せなかったニーズだけでなく、お客様さえ気づいていない真のニーズを引き出し解決する「ソリューション」の力を身に付けていく。

2-2. 中期経営計画の概要（経営目標）

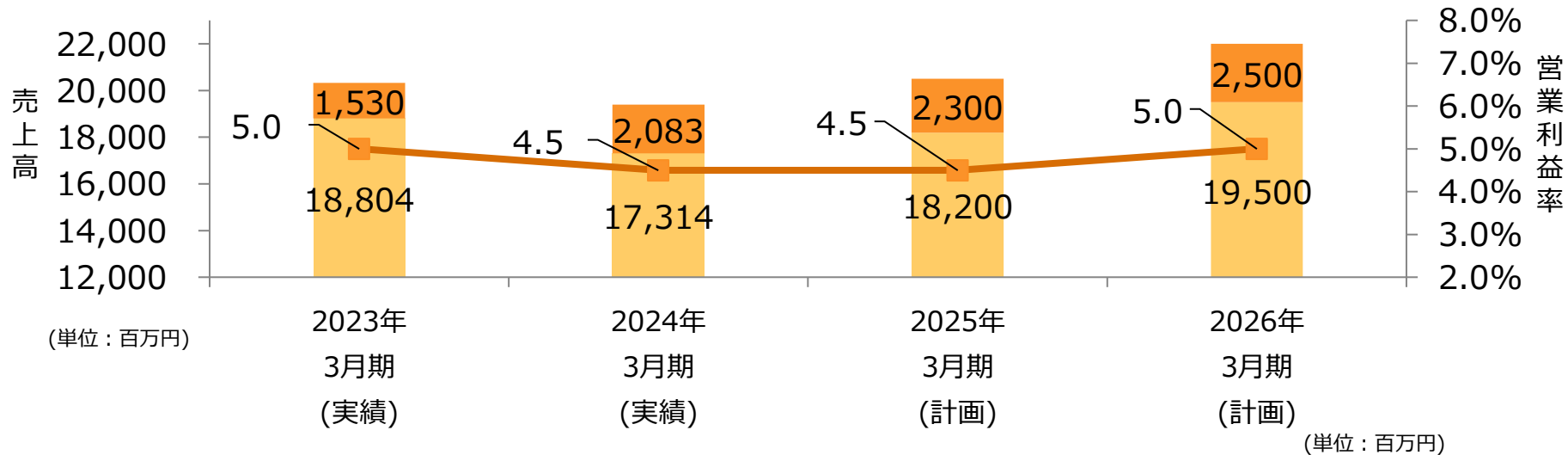
2026.3 売上高	22,000 百万円	2026.3 営業 利益	1,100 百万円	2026.3 営業 利益率	5.0%
伸び率	8.2%	伸び率	7.9%	伸び率	—
2023.3 売上高	20,335百万円	2023.3 営業 利益	1,019百万円	2023.3 営業 利益率	5.0%



2-3. 中期経営計画の概要（国内海外比較）

重要指標：2026年3月期 営業利益率5.0%

国内売上高 海外売上高 連結営業利益率



連結	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)
売上高	20,335	19,398	20,500	22,000
国内	18,804	17,314	18,200	19,500
海外	1,530	2,083	2,300	2,500
営業利益	1,019	865	920	1,100
国内	907	654	650	880
海外	112	211	270	220
営業利益率	5.0%	4.5%	4.5%	5.0%

(単位：百万円)

2-4. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
シームレスな国際一貫物流サービスを推進し、輸出入案件の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・米国西海岸新倉庫稼働により、シームレスな国際一貫物流サービスの拡張へ
顧客理解深化によるソリューション提案	<ul style="list-style-type: none"> ・同業他社と協力し成田DC業務（甲府→成田移管）を受注 ・主要顧客外部倉庫の集約提案により府中倉庫開設へ
成田地区の事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新倉庫の事業計画策定及びシンジケートローンの契約完了。2026年6月の竣工を予定 ・ターゲット企業に対し倉庫詳細計画の説明を開始



成田地区新倉庫主要設備

- ・全館空調設備、太陽光発電
- ・非常用発電機
- ・大型5 t EV 1基、4.1 t EV 1基
- ・5 t サスペンションクレーン 1基
- ・テーブルリフター10 t 1基、小型 1基
- ・ドックレベラー 2基
- ・EV車用充電設備
- ・倉庫内冷蔵・冷凍設備
- ・防犯監視カメラ&24h有人警備

2-5. 中期経営計画の進捗

事業戦略	進捗
収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 適切な値上げの交渉を進め、徐々に効果 米国新倉庫と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> 成田新倉庫では53億円程度の投資 省力化設備へ今期1億円の投資
DX	<ul style="list-style-type: none"> ロジメーターの導入 <ul style="list-style-type: none"> ※導入部署：6部署（成田、八王子、山梨、京浜、村山、豊田） 成田倉庫に保税システム、自動検尺システム導入
サステナビリティの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 顧客へのモーダルシフト、環境に配慮した包装設計の提案
事業運営の基盤強化	進捗
人材育成計画	<ul style="list-style-type: none"> 梱包の人事制度の見直し検討
サステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティPT主催で女性社員交流会開催 職場環境アンケートの実施



【米国西海岸 新倉庫完成】
2023年10月稼働開始
現在満床で稼働中

オーバーヘッドクレーン 30トン2基
7トン・3トンフォークリフト 各1台
敷地面積5,548㎡(1,678坪)
延床面積2,508㎡(760坪)

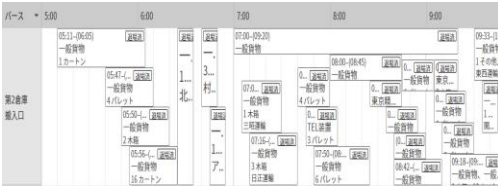


2-6. その他の取り組み

進捗

2024年問題への取り組み

・成田事業所にてトラック予約受付システムの導入



入場時間の事前予約システムと入退場受付システムによって、車両待機の解消や庫内作業の効率化など、課題解決や実績の可視化・生産性の向上を図る



年間およそ500万円のコスト削減及びトラック待機列の解消



環境への対応

・新システム導入により各事業所のCO2を見える化



現在、Scope 1とScope 2に対応し、各事業所のCO2排出量を可視化

3. 2025年3月期 業績予想

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

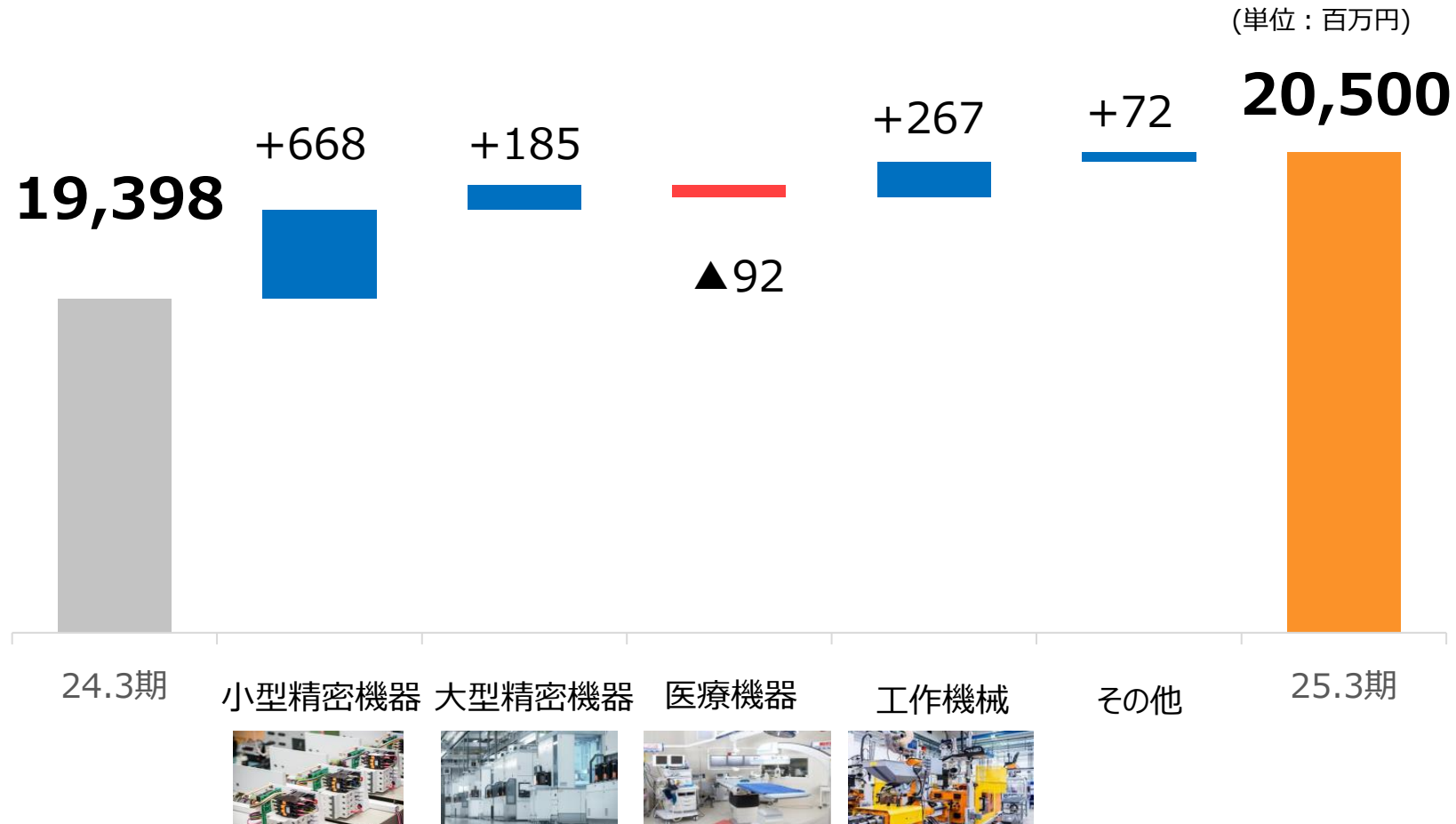
3-1. 連結業績予想

積極的な人材確保の継続に向け、販売管理費が増加も利益率は維持

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減	増減率 (単位：百万円)
売上高	19,398	20,500	+1,101	+5.7%
売上原価	15,024	15,860	+835	+5.6%
(売上原価率)	77.5%	77.4%	-0.1pt	-
販売管理費	3,508	3,740	+231	+6.6%
(販売管理費比率)	18.1%	18.3%	+0.2pt	-
営業利益	865	920	+54	+6.3%
(営業利益率)	4.5%	4.5%	±0pt	±0pt
経常利益	786	900	+113	+14.4%
当期純利益	572	620	+47	+8.3%
(当期純利益率)	3.0%	3.0%	±0pt	
(参考) 設備投資	871	681		
(参考) 減価償却費	769	800		

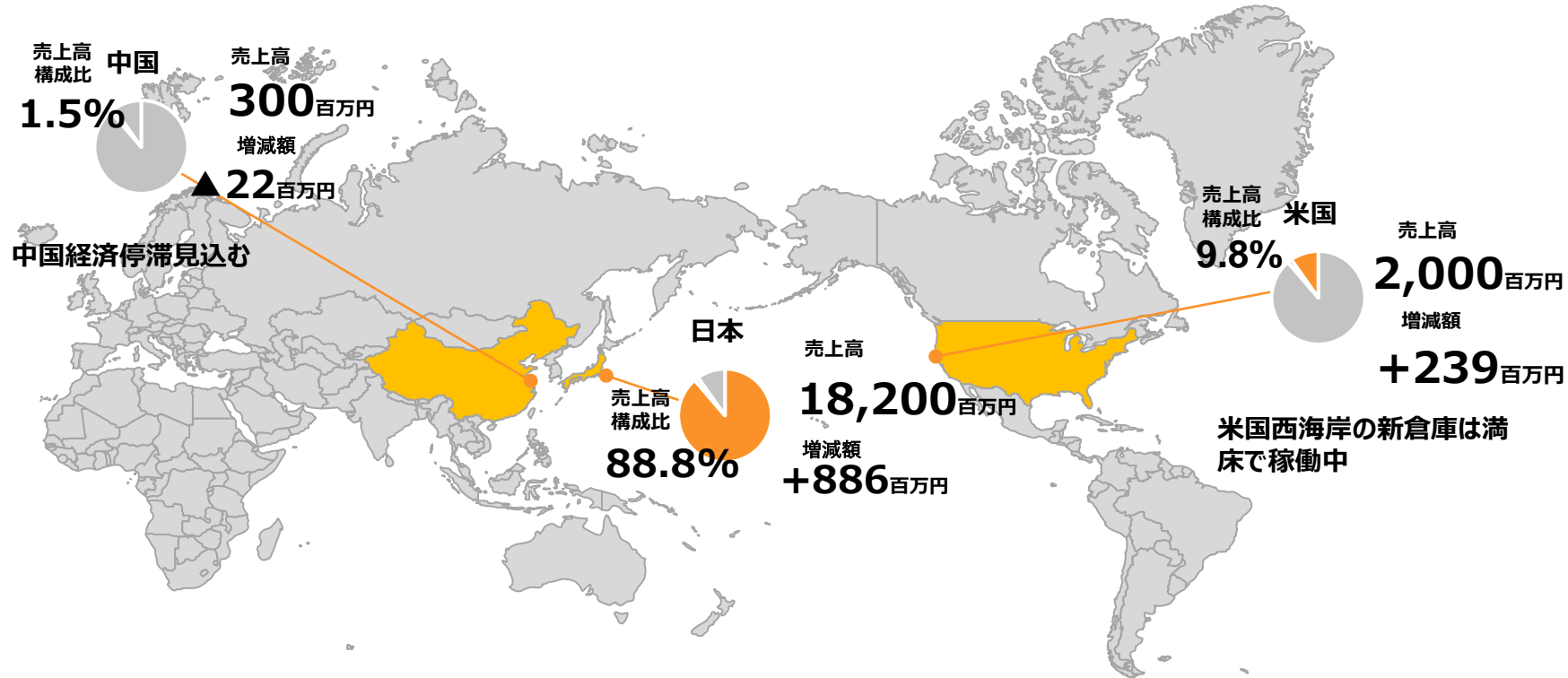
3-2. 取扱製品群別売上予想

国内では、制御装置の新規案件獲得及び航空貨物の取扱いの増加を見込む
 米国子会社では、工作機械の取扱いが好調に推移する見込み



3-3. 地域別業績予想

米国は新倉庫稼働寄与、中国は景気低迷見込む



USD/JPY=151.00

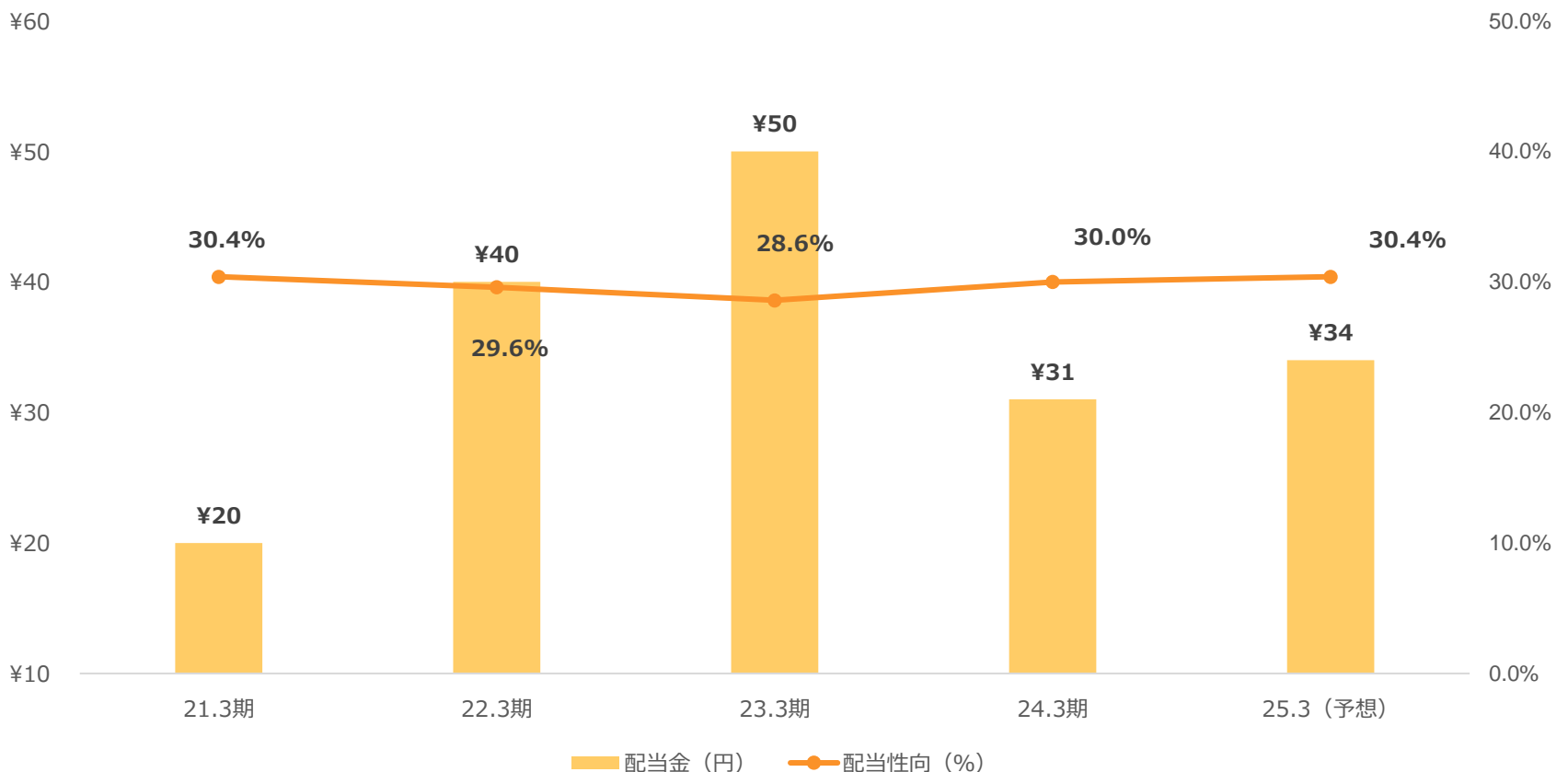
CNY/JPY=21.00

3-4. 配当方針

株主還元方針：連結配当性向30%を目途に検討

2025.3期：配当性向30%程度を維持

2024.3期：1株当たり31円を配当



4. サステナビリティへの取組み

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

4-1. サステナビリティ基本方針の策定

— サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、
誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ること
で、「物流品質の向上」につなげていきます。

4-2. 環境への取り組み

世界包装機構主催のパッケージングコンテストにおいて、ワールドスター賞を受賞!



	受賞歴
2024年	世界包装機構主催 World Star 2024 ワールドスター賞 受賞 『環境負荷低減 段ボール仕切りトレイの開発』
2023年	Good Packaging 電機・機械包装部門賞 受賞
2023年	世界包装機構主催 World Star 2023 ワールドスター賞 受賞 『工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発』
2022年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞
2021年	Good Packaging 工業包装部門賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2021 ワールドスター賞 受賞
2019年	Good Packaging 輸送包装部門賞 受賞
2018年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞 アジア包装連盟主催 Asia Star Winner2018 アジアスター賞 受賞
2017年	Good Packaging テクニカル包装賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2018 ワールドスター賞 受賞
2016年	Japan Star 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2017 ワールドスター賞 受賞
2014年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2013年	Good Packaging ロジスティクス賞 受賞
2012年	Good Packaging 医薬品・医療品包装部門賞 受賞
2011年	Good Packaging 電気・機器包装部門賞 受賞
2010年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞

2024年 ワールドスター賞 受賞作品



受賞歴

- ・World Star賞
5回
- ・Asia Star賞
1回
- ・Japan Star賞
1回
- ・Good Packaging賞
12回

4-3. ダイバーシティ・職場環境の向上

ダイバーシティPTの立ち上げ

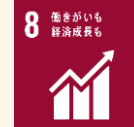


女性従業員へのヒアリング

- ・人事制度、設備、会社の文化の3つの切り口から提案

女性交流イベントの実施

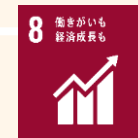
- ・女性活躍の場面を見る、知る機会の創出



職場環境アンケートの実施



休憩室の椅子の取り換えや給茶機の設置など、従業員の声を基に環境改善を実施



4-4. サンリツ卓球部の活動

◆ 概要

- ・卓球部を1979年に創設 ・日本卓球リーグ女子1部に所属



◆ 直近の主な戦績

- ・シチズンカップ 第32回日本卓球リーグ選手権・ビッグトーナメント茨城大会 《女子ダブルス》**優勝**
- ・内閣総理大臣杯2023年度日本卓球リーグプレーオフ・JTTLファイナル4 第3位

◆ 卓球を通じた交流

- ・サンリツ京浜事業所内にて、「第2回サンリツ・三浦杯 小学生卓球大会」を開催





※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部

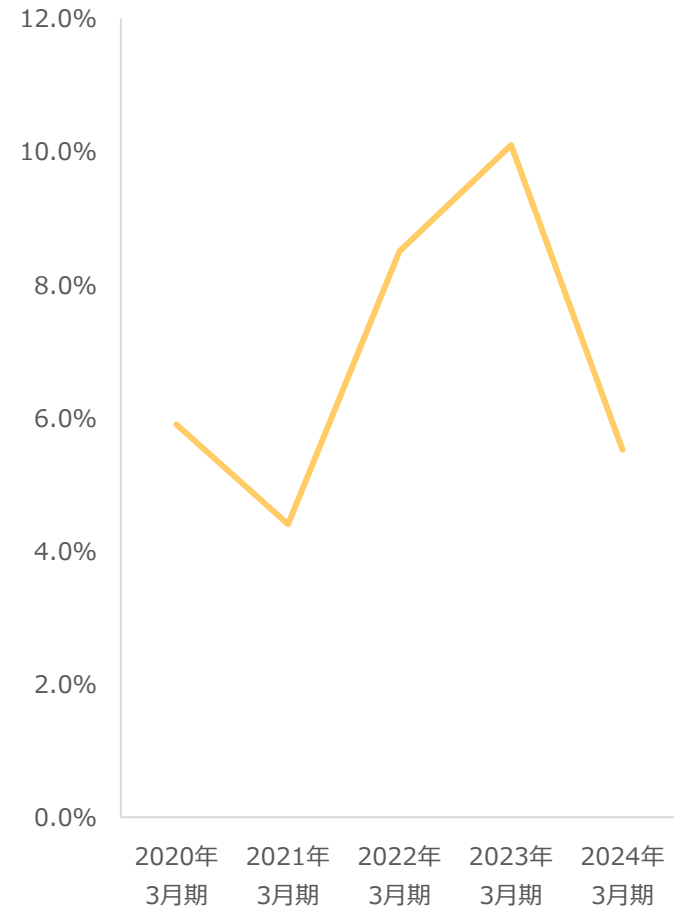
5. Appendix

1. 2024年3月期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期中期経営計画
3. 2025年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

2024年3月期連結貸借対照表

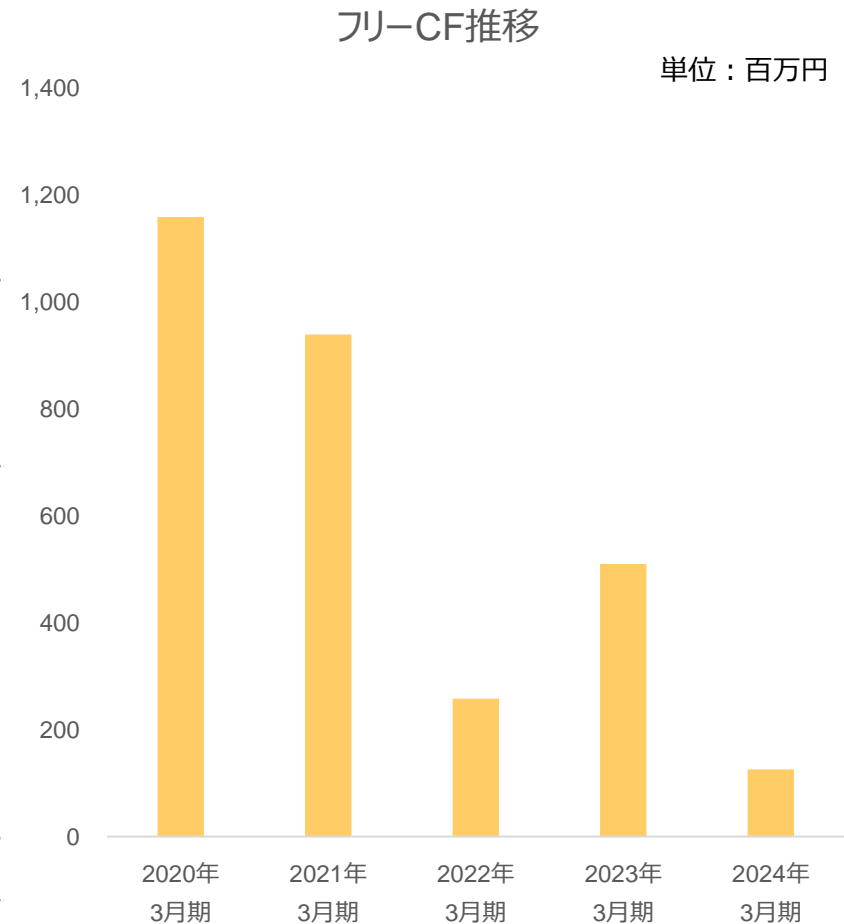
(百万円)	2023年 3月末	2024年 3月末	前期比増減
流動資産	6,882	6,446	▲435
固定資産	14,288	14,909	+621
有形固定資産	12,016	12,505	+489
無形固定資産	288	242	▲45
投資その他の資産	1,983	2,161	+177
資産合計	21,171	21,356	+185
流動負債	6,205	5,745	▲459
固定負債	4,710	4,834	+123
負債合計	10,916	10,579	▲336
純資産合計	10,255	10,777	+522
負債及び純資産合計	21,171	21,256	+185
売上高当期純利益率	4.8%	3.0%	▲1.8pt
流動比率	110.9%	112.2%	+1.3pt
自己資本比率	47.7%	49.7%	+2pt
ROE	10.1%	5.5%	▲4.6pt

ROE推移



2024年3月期連結キャッシュフロー計算書

(百万円)	2023年 3月末	2024年 3月末
営業活動によるC/F	1,415	1,103
うち税金等調整前当期純利益	1,382	768
うち減価償却費	767	769
うち為替差益損益 (▲は益)	▲222	▲170
うち法人税等の支払額	▲424	▲463
投資活動によるC/F	▲904	▲976
うち有形固定資産の取得	▲1,158	▲856
うち無形固定資産の取得	▲202	▲25
財務活動によるC/F	▲678	▲677
うち長期借入金による収入	3,500	3,500
うち長期借入金の返済による支出	▲3,691	▲3,684
うち自己株式の取得による支出	▲127	▲41
うち配当金の支払い	▲225	▲275
換算差額	144	45
現金及び現金同等物の増減額	▲23	▲505
現金及び現金同等物の期末残高	2,725	2,220

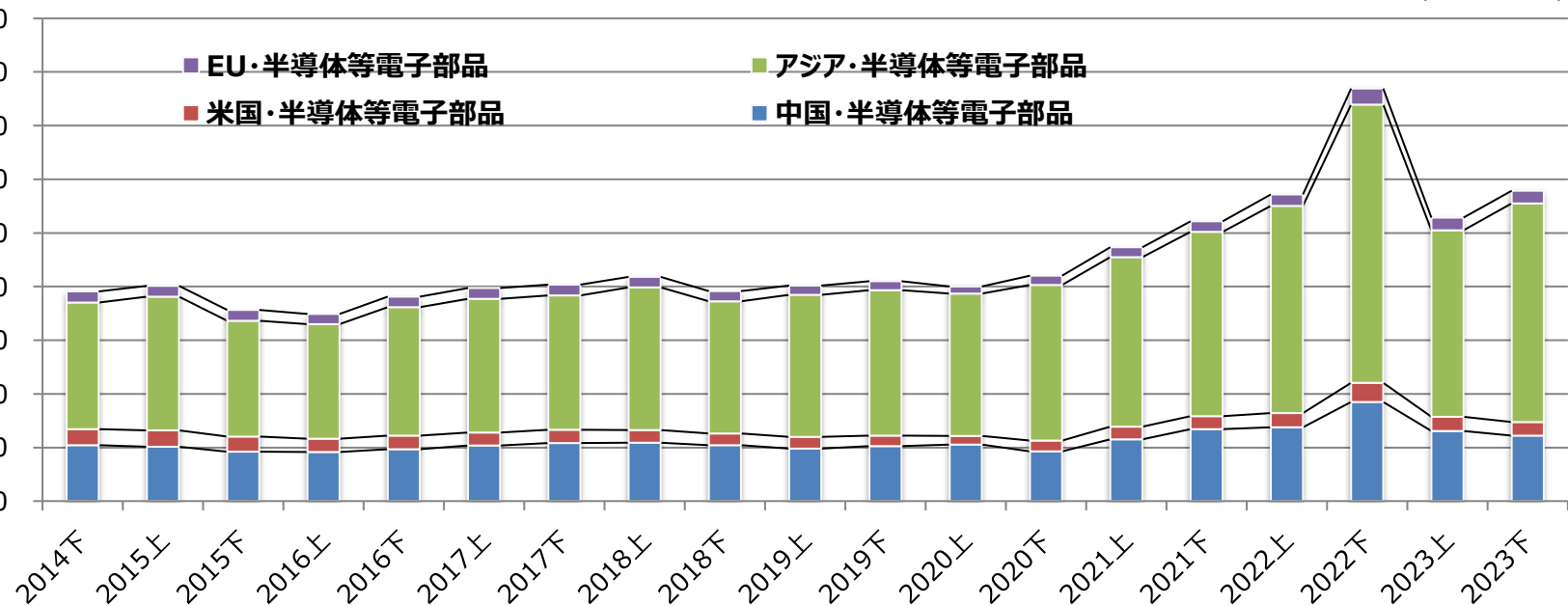


【参考】外部環境(～2023年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど

(単位：百万円)



・2022年下期をピークに、2023年上期は大幅な減少。需要の高まりにより復調か。

出典：財務省貿易統計より

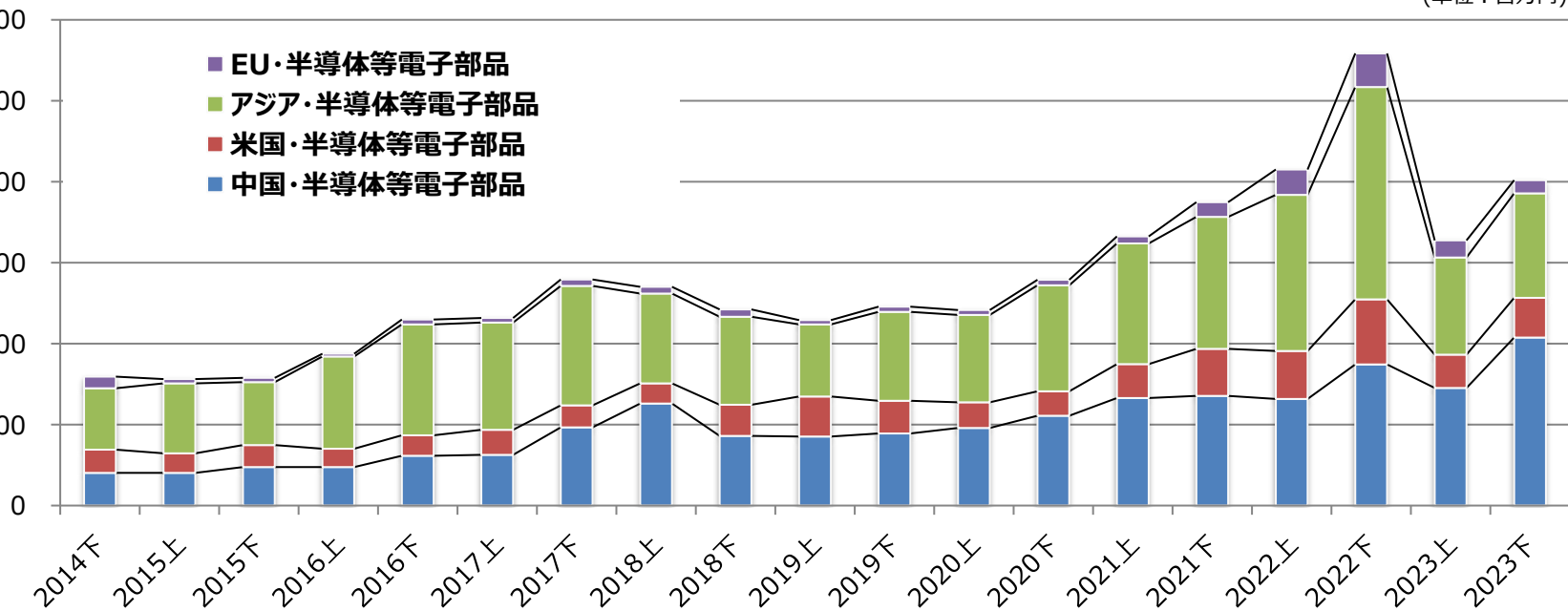
【参考】外部環境(～2023年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器

半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)



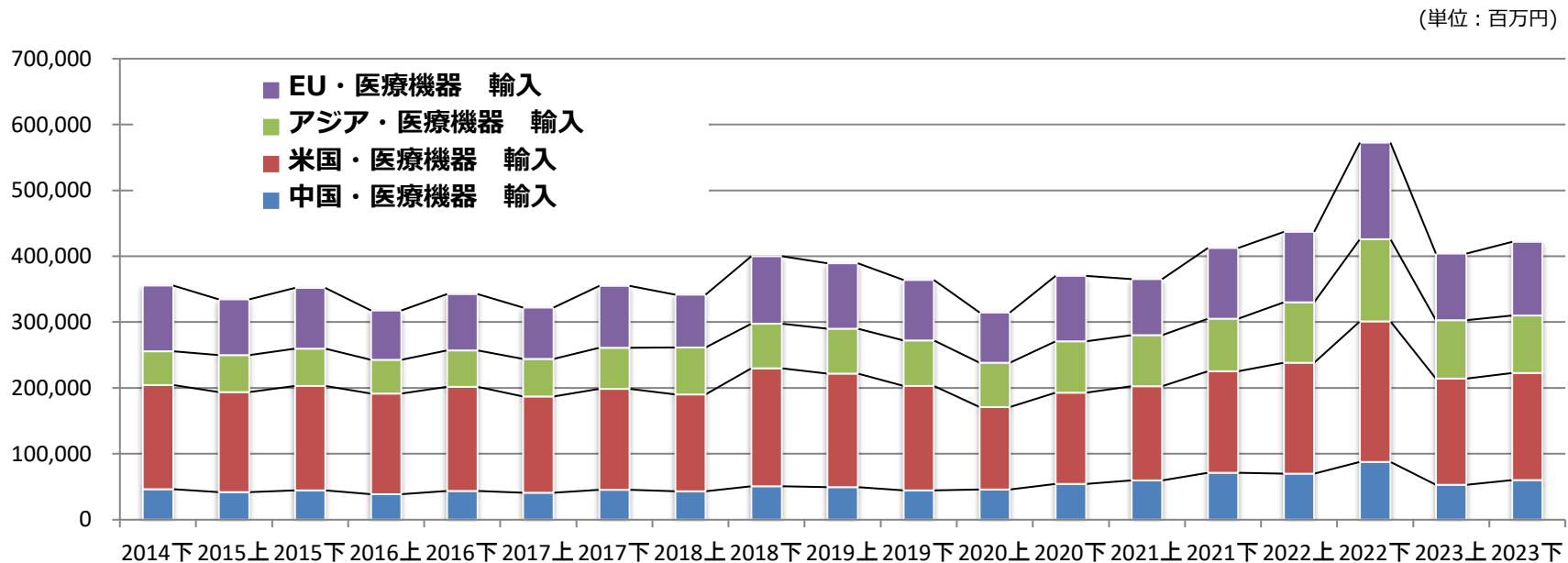
・2022年下期で大幅な増加がみられたが、2023年上期で急激に減少在庫調整の動きか。復調傾向がみられる。

出典：財務省貿易統計より

【参考】外部環境(～2023年度下期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など



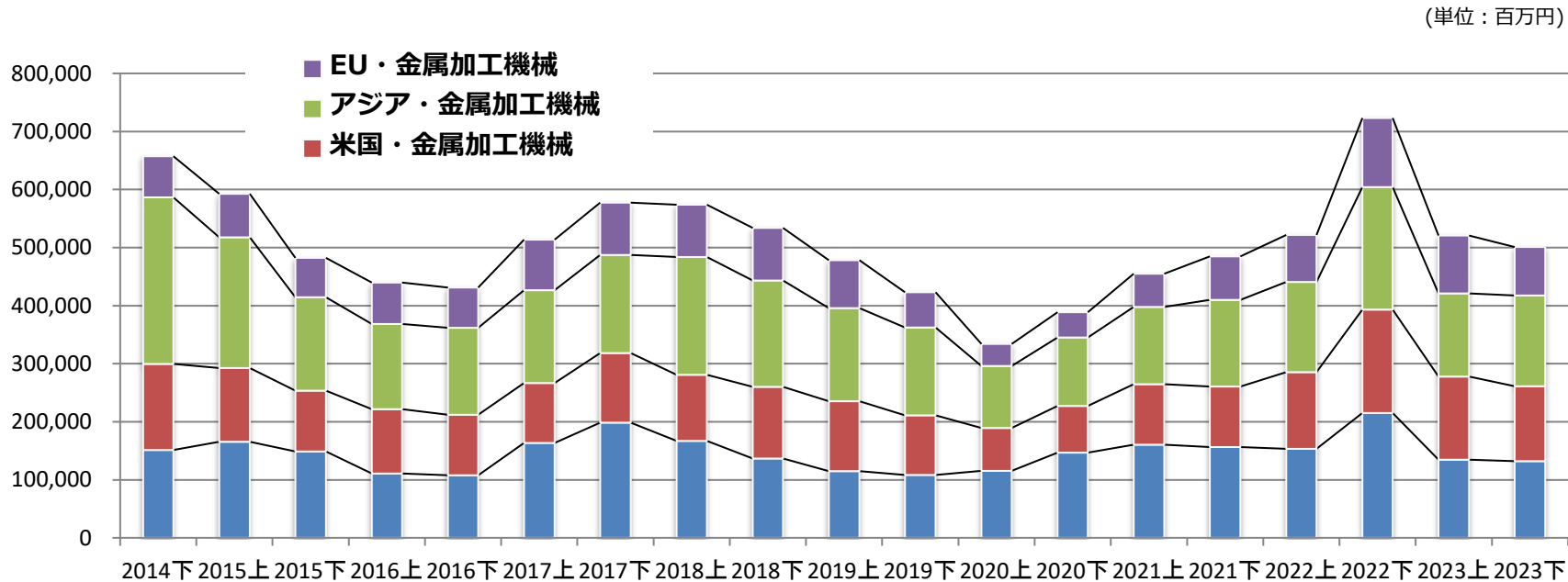
・2022年下期をピークに大きく減少したものの、おおむね堅調な推移となっている

出典：財務省貿易統計より

【参考】外部環境(～2023年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械



・金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2020年下期に底打ち後、アップトレンドであったが2023上期で大幅減少

出典：財務省貿易統計より